

自主検査 (H鋼吊り+在来天井)

工事名	
施工期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日

ゼネコン		検査日	令和 年 月 日		検査員			
施工会社								
材料メーカー	㈱佐藤型鋼製作所							
工程	管理項目	測定方法	測定頻度	管理許容値	異常時の処置	検査確認チェック	検査実施年月日	備考欄
材料受入れ								
▼	H鋼にH鋼吊金具の取付・吊ボルトの取付・X方向角形鋼SLGB-100を1~2本取付け(レベル出し)	① H鋼吊金具がH鋼のフランジに両方から隙間のないように挟み込まれ、締め付け用ボルト・ナットでしっかり固定されているか。H鋼吊金具同士が3/8"ボルトで連結されてゆるみなく取付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図①~⑦
▼	鉛直補強材・ブレースSLGB-45の取付け	② 1/2"吊ボルトがゆるみなくH鋼吊金具に取り付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図①②
▼	X方向補強材の取付け・X方向補強材ジョイント部の取付け	③ 1/2"長ナットで1/2"吊ボルトを接続する場合、吊ボルト同士がゆるみなく取付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図③
▼	Y方向補強材の取付け・Y方向補強材ジョイント部の取付け・X方向補強材とY方向補強材の留め付け	④ 鉛直固定EがH鋼吊金具(大)又はX方向とY方向補強材に隙間なく取り付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図④⑤
▼	X及びY方向ブレースをX及びY方向補強材に取付け	⑤ 斜め固定L①とH鋼吊金具(大)がM16 x 100ボルト・M16ナットでゆるみなく固定されているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図⑥⑦
▼	X方向水平材の取付け・レベル調整 X方向水平材ジョイント部の取付け	⑥ t6座金を締め付けるナットは1/2"Wナットで留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正		図⑧⑨
▼	Y方向水平材の取付け・Y方向水平材ジョイント部の取付け	⑦ ブレースと斜め固定K65又はK100がビス留めされているか。斜め固定K65又はK100がX方向又はY方向補強材にビス留めされているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図⑩⑪
▼	Y方向水平材とX方向補強材の留付け	⑧ 斜め固定K65又はK100の先端とt6座金のクリアランスが10mm以内になっているか。	目視・実測	工区毎	10mm以内	修正		図⑧⑨
▼	1型100用3分・3/8"吊ボルトの取付け	⑨ 角形鋼をつなぐジョイント金具は両面からかぶせているか。M12ボルト・ナットが確実に締め付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正		図⑫⑬
▼	在来天井下地組みレベル調整	⑩ 直交固定金具が隙間なく取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正		図⑭⑮
▼	ブレース受け材(野線方向ブレース用)の取付け	⑪ 100BOXハンガーに補強板が図⑯のように取付けてあるか。100BOXハンガーと角形鋼がビスで固定されているか。	目視・実測	工区毎	特になし	修正		図⑯
▼	ブレースの取付け	⑫ レベルは所定の高さになっているか。	目視	工区毎	10mm以内	修正		図⑰
▼	天井ボード貼り	⑬ 全ての金具が所定のビスの本数でしっかり留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正		
		⑭ レベルは所定の高さになっているか。	実測	工区毎	10mm以内	修正		
		⑮ X・Y方向角形鋼と壁との隙間は50mm程度になっているか。	目視・実測	工区毎	50mm程度	修正		
		⑯ 耐震ハンガーのナット及び締付けボルトの締め忘れはないか。耐震クリップの締め忘れはないか。	目視	工区毎	特になし	修正		図⑱-1 図⑱-2
		⑰ 野線のジョイントの位置は互いに1m以上離し、千鳥状に配置されているか。Cジョイントはビス留めされているか。	目視・実測	工区毎	特になし	修正		図⑲-1 図⑲-2
		⑱ レベルは所定の高さになっているか。	目視	工区毎	10mm以内	修正		
		⑳ ブレース受け材は野線受Lで専用ビスSDF22.4本で取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正		図㉔
		㉑ 板付きナットとスマートギヤロックとの間は隙間なく取付けられているか。ブレース下端部はブレース1本につき、専用ビスSDF22.2本で留められているか。ブレースとブレースは近接して取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正		図㉒⑳
		㉒ ハグロック(野線すべり防止金具)は野線受け方向に4ヶ所、野線方向に6ヶ所取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正		図㉓